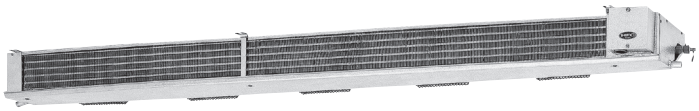
Panasonic

取扱説明書

クーリングコイル（業務用）

品番　CC-TL2000
CC-TL4000



上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 ・・・・・・・ 2～4
各部のなまえ ・・・・・・・・・・ 5

据付けのしかた

設置について ・・・・・・・・6～12
電気配線工事について ・・・・・・・13
試運転について ・・・・・・・・・13

操作のしかた

ご使用方法・・・・・・・・・・・14

その他

点検とお手入れのしかた ・・・・・15
修理を依頼される前に ・・・・・・16
修理について ・・・・・・・・17～18
仕様 ・・・・・・・・・・・19～20
付属品寸法・・・・・・・・・・・21
製品取付天井寸法 ・・・・・・・・22
製品電気回路図 ・・・・・・・・・23
配線図 ・・・・・・・・・・24～25

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」（2～4ページ）を必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	**⚠ 注意**「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源回路を切る

〈発煙・発火、感電のおそれ〉

異常・故障例

- ●漏電遮断器が自動的に「切」になる。
- ●運転中、焦げ臭いにおい、異常な音がする。
- ●電源線が異常に熱い。
- ●災害で製品が水没した場合。
- ●ビリビリと電気を感じる。

●すぐにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■電源線は…

次のことをしない

禁止

〈火災や感電のおそれ〉

- ●傷つけない、破損しない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。
  また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
- ●ぬれた手で電気部品に触れない。

次のことを守る

〈火災や感電のおそれ〉

- ●電源は専用回路を設ける。

アースを接続する

アース接続

〈漏電時に感電のおそれ〉

●アース工事は必ず専門の業者に依頼してください。

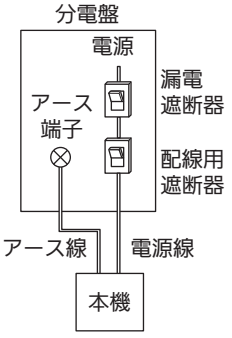
■電気工事について…

専門業者に依頼する

●電気工事とは…

- ● 漏電遮断器を取り付ける。
- ● 配線用遮断器を取り付ける。
- ● 分電盤のアース端子に接続する。
- ● 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なう。

（火災や漏電のおそれがあります。
アースが不完全な場合は、感電のおそれがあります。）



⚠警告

■お使いのときは…

次のことをしない

禁止

〈火災や感電のおそれ〉

- ●揮発性・引火性のある物は庫内に入れない。
- ●可燃性スプレーを製品の近くで使用したり、可燃物を置いたりしない。
- ●製品の外側や庫内に直接、水をかけたり、水洗いしたりしない。
- ●ぬれた手でスイッチを操作しない。
- ●分解や修理・改造は絶対にしない。
- ●製品の外側にねじなどを打ち付けない。

〈引火爆発・火災のおそれ〉

- ●ガス漏れに気づいたら製品やスイッチに手を触れない。

〈やけど・けがのおそれ〉

- ●吹出口・吸込口・可動部に指や棒を入れない。

次のことを守る

- ●食品の一時保存用として使用する。

〈引火・爆発のおそれ〉

- ●ガス漏れに気づいたら窓を開け換気する。

■使用温度範囲を守る

- ●仕様欄を確認し、適切な機種を適切な温度範囲で使用する。

■設置のときは…

禁止

- ●設置・移設は専門業者以外では実施しない。
- ●水のかかりやすい場所に据え付けない。
- ●屋外で使用しない。

- ●据え付けは専門業者に依頼してください。専門業者以外で工事をされると水漏れ、感電、火災の原因になります。
- ●重量に充分耐える水平な所に確実に据え付ける。

■お手入れや整備・点検のときは…

〈けが・感電のおそれ〉

- ●必ず電源回路を切る。

■保管・廃棄時は…

禁止

- ●子供が遊ぶ可能性のある場所には放置しない。
（閉じ込めなどのおそれがあります。）

- ●テープやロープなどで扉が開かないように固定する。
（閉じ込めなどのおそれがあります。）
- ●雨水のかからない場所に保管する。
（漏電、感電のおそれがあります。）
- ●製品の廃棄は専門業者に依頼する。
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ●使用を終了した製品は、万一の落下防止のため放置せずに撤去をする。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

■お使いのときは…

禁止

●運転中の製品に手を触れない。

〈酸素欠乏のおそれ〉

●腐食性ガスを発生する食品は、無包装のまま貯蔵庫に入れない。

〈やけど・感電のおそれ〉

●露出している配管や配線には触れない。

〈貯蔵物梱包材の劣化のおそれ〉

●貯蔵物は運転中の製品に触れない場所に貯蔵する。

●異常運転停止の場合には、商品の温度上昇を防止する。
商品の移動もしくは貯蔵庫内にドライアイスなどを入れる。

■設置・移動・保管・廃棄時は…

禁止

●温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
（硫酸分や塩分が多いため）

●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所へは設置しない。

●排水工事を確実に行う。

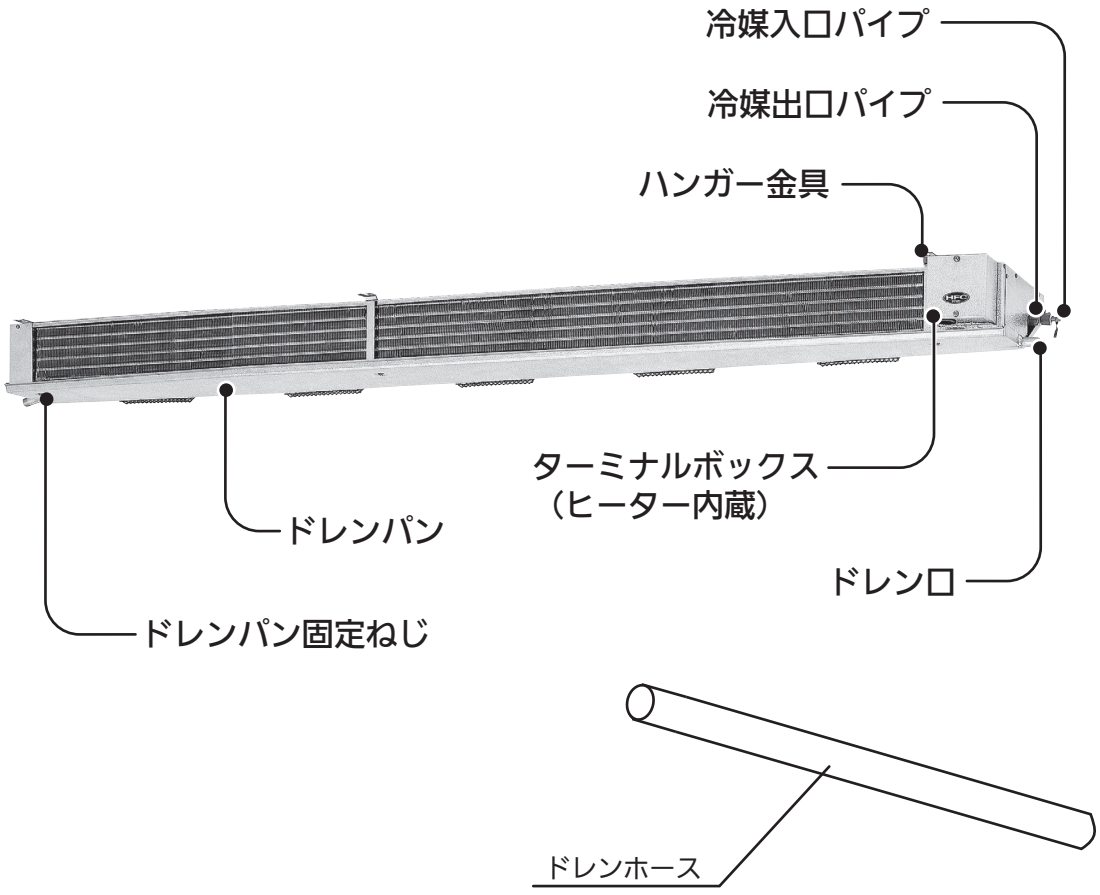
■お手入れのときは…

●漏電遮断器は、定期的（一年に一回以上）に動作確認をしてください。点検方法はお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

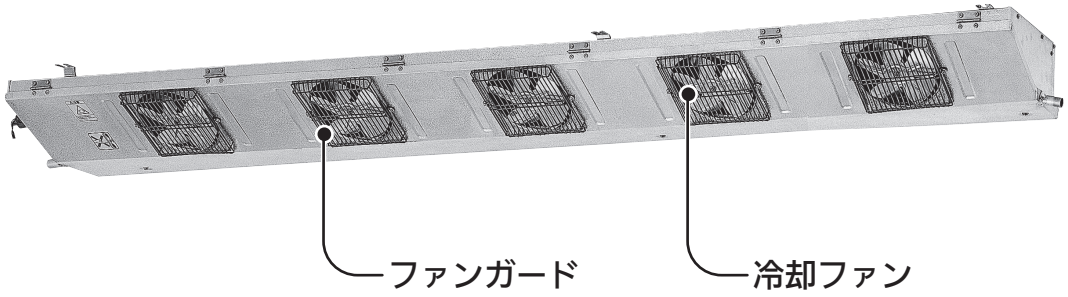
各部のなまえ

品番：CC-TL4000で説明しています。

正　面



裏　面



設置について

据え付けの前に

■下表を参考に本製品の付属品を確認してください。

	名　称	個数
1	取扱説明書（本誌）	1
2	ドレンホース	1
3	ホースバンド	2
4	Uトラップ管	1
5	電磁弁	1

※1. ドレンホース、Uトラップ管の寸法はP21を参照願います。

■冷媒配管の接続仕様は下記のとおりです。

冷媒入口	φ9.53 mm OD 溶接
冷媒出口	φ19.5 mm OD 溶接

■ドレン配管の接続仕様は下記のとおりです。

ドレン口寸法	φ 32 mm OD
ドレンホース内径	φ 32 mm ID

■端子台に使用する丸端子はご使用になる電気回路の電流値・配線距離により下記の中から選定してください。

メーカー	日本圧着端子製造（株）
型式	R1.25-4
型式	R2-4
型式	3.5-R4

※端子加工の際は、端子メーカーが指定する適用圧着工具を使用して加工してください。

設置について

ご用意するもの

■クーリングコイルを設置するにあたり、付属品以外に下記のものが必要です。

クーリングコイルの据え付けに必要なもの

	呼び	個　数	
		CC-TL2000	CC-TL4000
ボルト	M 8	4	6
ナット	M 8	8	12
ばね座金	M 8	4	6
平ワッシャー（みがき丸）	M 8	8	12

冷凍回路や電気制御回路等との接続に必要なもの

銅配管	クーリングコイルの冷媒入口・出口管の接続仕様をご覧になり適正サイズを選定してください。その他の配管は冷却ユニットやその他接続機器の取扱説明書ならびに施工説明書を良くお読みになって選定してください。
ドレン用配管	ドレン接続仕様をご覧になり選定してください。
接続電線	設置機種の仕様、必要電線長さ等より選定してください。
丸端子	P6をご覧ください。
結束バンド	電気の配線処理に使用します。

使用工具

- 電動ドリル
- ロウ付け用バーナー
- パイプカッター
- フレアツール
- スパナー
- ドライバー（+）
- 圧着機
- プライヤー（ペンチ）

■ねじの締めつけトルクは下表を参考としてください。

	締めつけトルク（N･m）	対象部品
M 4 ねじ	0.9	外装カバー取り付けなど
M 5 ねじ	1.7	電装箱取り付け・ドレンパン取り付け・ファンガード取り付けなど
端子ねじ	1.62 ～ 1.98	端子台への端子取り付け

■フレアナットの締めつけトルクは下表を参考としてください。

パイプ径	締めつけトルク（N･m）
φ 6.35（1/4″）	12 ～ 17
φ 9.52（3/8″）	31 ～ 38
φ 12.7（1/2″）	44 ～ 54
φ 15.88（5/8″）	54 ～ 63
φ 19.05（3/4″）	72 ～ 82

設置について

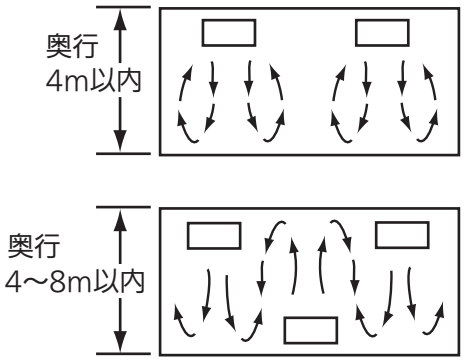
事故・損害（故障）免責のご注意

■本書説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が発生した場合には、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合には、当社保証の対象外となります。

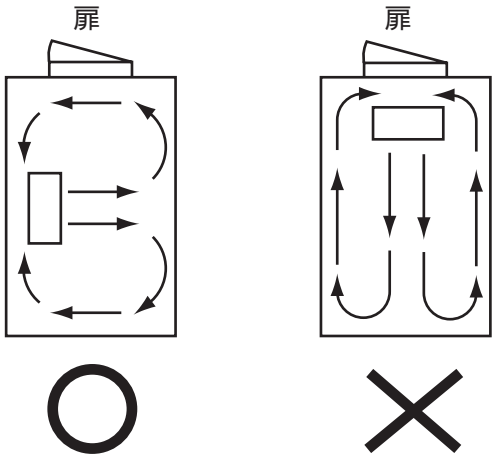
設置場所

■温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
（硫酸分や塩分が多いため）

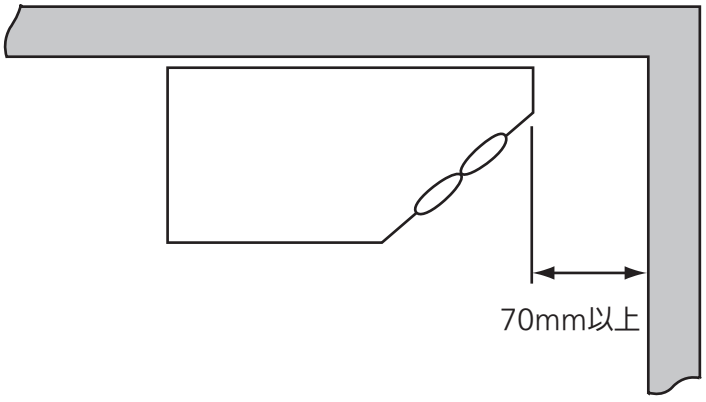
■冷蔵庫奥行寸法が４m以内の場合は、クーリングコイルを片側方面に並べてください。４mを越える場合は、両側に向かい合わせに取り付けてください。



■クーリングコイルを扉の近くにおきますと、扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、着霜が増し、能力が低下し、冷えない現象になりますので注意してください



■クーリングコイルは冷蔵庫の天井に直接取り付けます。
本体は冷却ファンが壁側に向くよう取り付けて、冷気の循環と取付工事、サービス等の施工を考え、後部と壁面には70mm以上の間隔をあけてください。

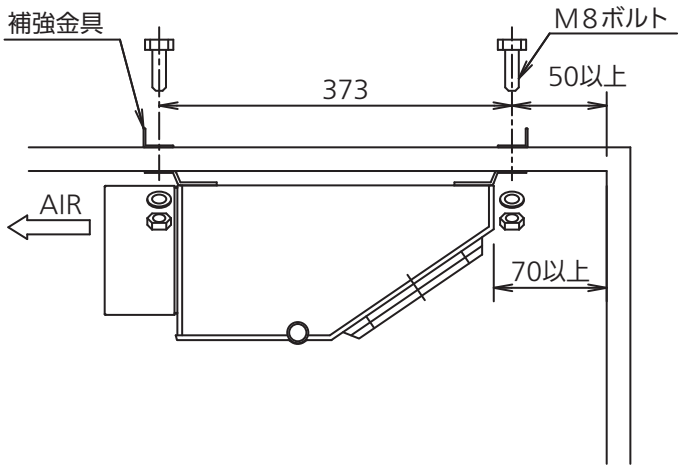


設置について

据え付け方法

①天井に取り付け穴寸法（P22）および製品仕様を参考に、貯蔵庫の天井に穴φ10mmを所定の位置に所定の数を開けてください。

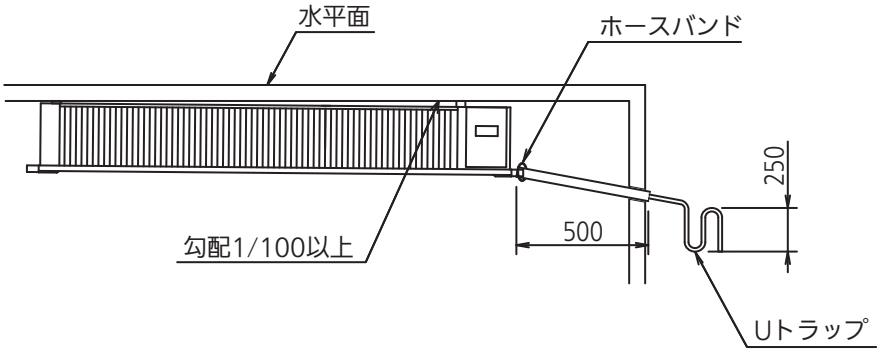
※据え付けようとする場所がクーリングコイルの重量に耐えられるか検討し、強度が不充分な場合は取り付け部を補強してください。



②M8ボルトを通して、下側からナットで固定してください。

③ドレンホースの貯蔵庫庫外にUトラップを設けて、庫外からの空気の進入を防止してください。

④クーリングコイル本体を天井に取り付けてください。排水をスムーズにするため、クーリングコイルは天井に対してわずかな傾きをもって取り付きます。取り付け場所の状況により、傾斜が1/100より小さい場合は傾斜が1/100より大きくなるように調整してください。
※クーリングコイルハンガー金具と天井を密着（面接触）させてください。



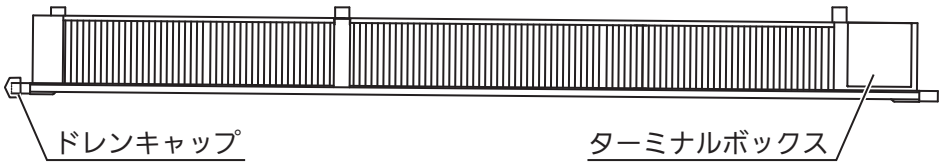
⑤ドレンホースを付属のホースバンドで固定してください。
※ホースバンドは、締めつけトルク1～1.5（N・m）で固定してください。

設置について

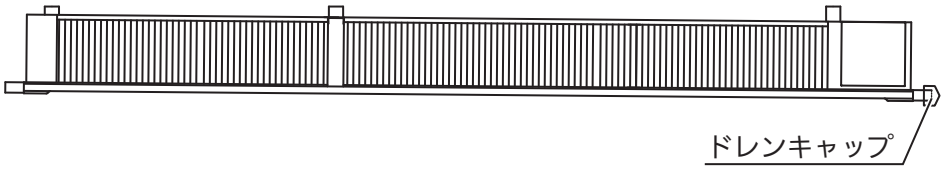
ドレン口を左にする場合

■CC-TLシリーズは、ドレンパン自身にドレン水排水のための傾斜を設けておらず、ハンガー取り付け金具の長さを変えることにより、製品自体に傾斜を持たせることで排水を行う方式をとっています。
ドレン口を左側にする場合には、下記手順に従って、クーリングコイルの傾斜を逆にしてください。

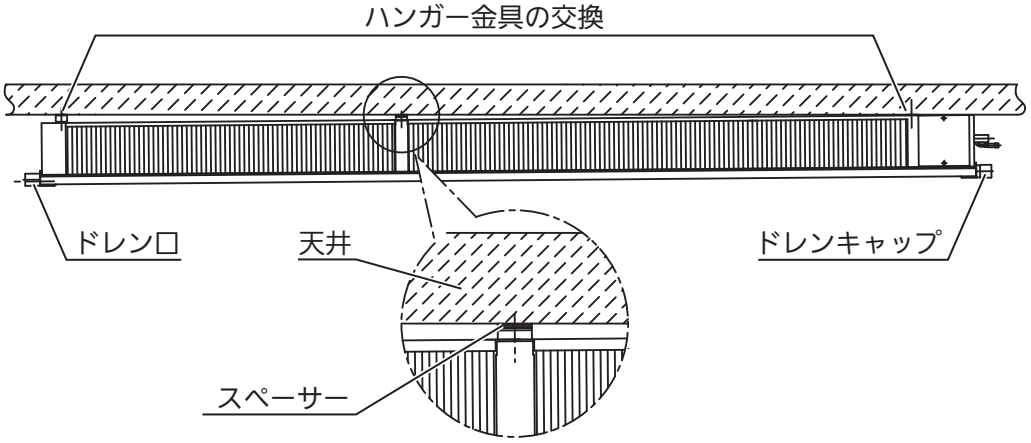
①出荷状態
出荷時正面に向かって左側（ターミナルボックスの逆側）にドレンキャップが付いています。



②ドレンキャップの付け替え
左側のドレン口についているドレンキャップをはずし、右側のドレン口に取り付けます。



③ハンガー金具の付け替え
CC-TLシリーズは、製品左右のハンガー金具の長さが異なります。
製品据え付けの前に、左右のハンガー金具の交換を行なってください。



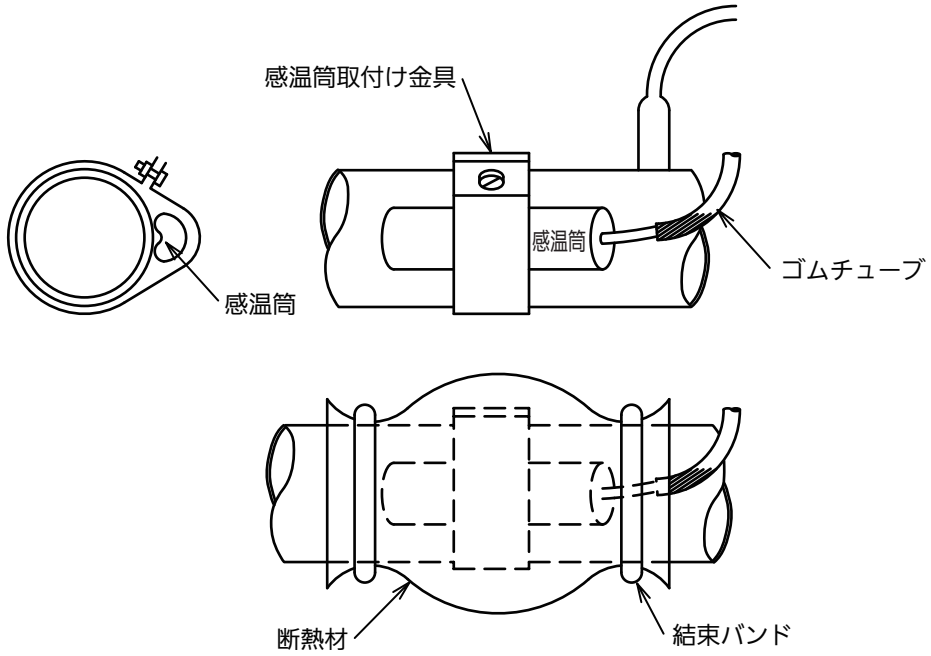
④天井への取り付け
製品の取り付けは、ドレン口が右側の時と基本は同じですが、CC-TL4000の場合、ハンガー金具を付け替えたことにより、まん中のハンガー金具と天井との間に隙間が開いてしまいます。
この隙間にゴムなどのスペーサーを入れて、ハンガー金具と天井との密着性を高めてください。
なお、スペーサーの厚みは施工状況を見て調整をお願いいたします。（上図参照）

※1. ハンガー金具と天井との隙間の開いたままの場合、製品が十分に固定されていないため、振動等による異音発生の原因になります。
※2. スペーサーが厚すぎると、ハンガー金具が下に押されて製品が変形し、ケースと内部部品が接触することで、異音発生の原因になります。

設置について

膨張弁感温筒の取り付け方

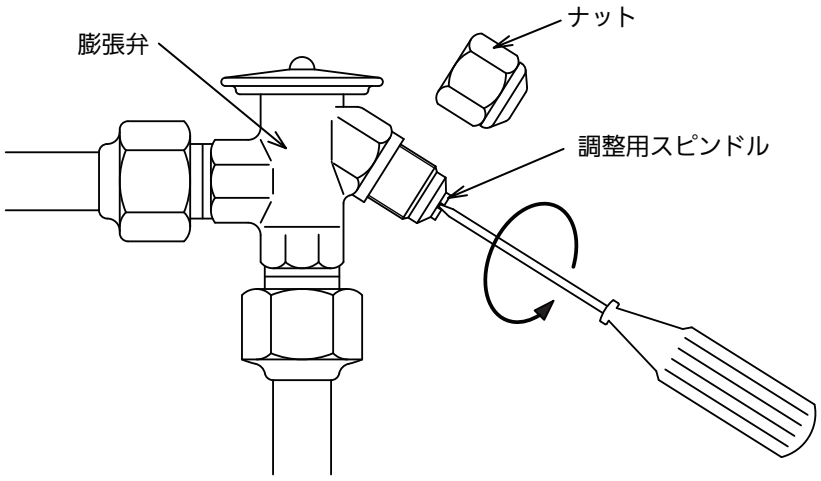
感温筒の取り付けは、必ずサクション配管溶接後に行ってください。
感温筒を感温筒取付け金具でしっかりと固定し、断熱材を巻いて、結束バンドで締めてください。



※感温筒は出荷時、冷却器出口パイプに仮止めされています。

膨張弁の過熱度調整

①膨張弁のナットをはずします。
②マイナスドライバーなどで過熱度調整用のスピンドルを回してください。
③右回り１回転で過熱度は４℃大きくなり、左回り１回転で過熱度は４℃小さくなります。
以上の手順で、最適な過熱度（4〜6℃）に調整してください。



設置について

⚠ 警告

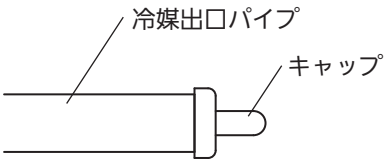
溶接は有資格者が行う

配管の溶接・溶断は、法令により定められた有資格者が行なってください。

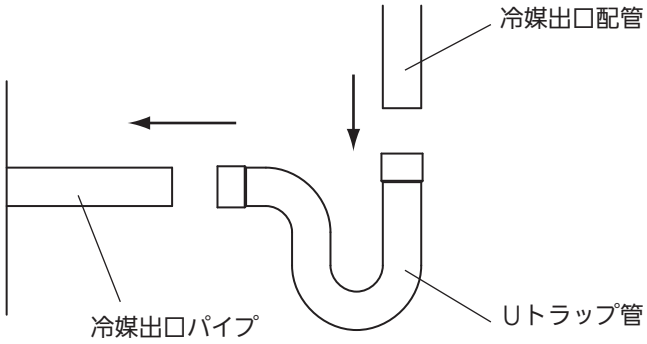
冷媒入口・出口パイプの接続

■冷媒入口パイプにはゴム栓がついています。ゴム栓をはずしてから冷媒配管にロウ付けしてください。

■冷媒出口パイプには、キャップがロウ付けされています。ロウ付け用バーナーにてキャップをあぶり、はずしてから冷媒配管にロウ付けしてください。



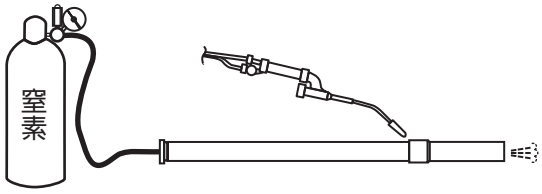
※冷媒出口パイプと冷媒配管の間には、Uトラップ管を接続（ロウ付け）してください。



■溶接接続

溶接時には必ず、乾燥窒素ガスを通しながら溶接を行ない、配管内に酸化スケールが生成しないようにしてください。

また、配管の溶接時に炎がユニット内の電気配線や、内部の他の機器などに当たらないようにストレート板などで保護してください。



電気配線工事について

■電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なってください。
電源回路不良、容量不足、施工不備があると火災や漏電の原因になります。

感電防止

■安全のためD種接地工事によるアース（接地）を取り付けてください。電気設備技術基準により、アース工事をするほか、万一の感電や火災を防止し安全に使用していただくため、必ず漏電遮断器を取り付けてください。アース工事と漏電遮断器の設置は、お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

■電源は、高温部（コンプレッサー、凝縮器、吹出配管）および金属のエッジ部に接触しないようにしてください。直接接触すると配線被覆の損傷により漏電の原因となります。

試運転について

■クーリングコイルおよび室外機の設置、配管、配線工事終了後、試運転を行なってください。

■試運転にはお客様に立合いをお願いして行い、実際に冷えていることを確認してください。

■「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。
そして、「安全上のご注意」、「ご使用方法」、「お手入れのしかた」などをご説明ください。

ご使用方法

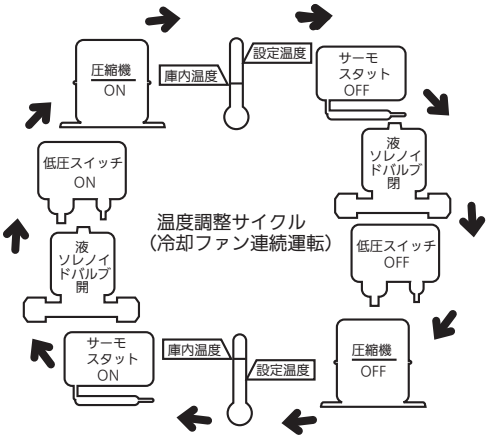
温度調節について

■温度調節サイクル

① 市販の温度調節器（サーモスタット）が必要です。

② 庫内温度がサーモスタットの設定温度以下に冷えると、サーモスタットの作動により液電磁弁を閉じて運転するため、低圧圧力が下がることで低圧スイッチがOFFし、圧縮機は停止します。この時、冷却ファンは連続運転します。

③ 庫内温度がサーモスタットの設定温度以上に上昇した場合、サーモスタットが ON し、液電磁弁が開いて、冷却器に冷媒が流れ込むことで低圧圧力が上昇し、低圧スイッチが復帰して圧縮機は再び運転をはじめます。



このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

なお、弊社マイコンコントローラーSECT-C2300、クーリングシステムコントローラーSDT-12S1などをご使用になると現地での電気工事の短縮が図れます。

霜取りについて

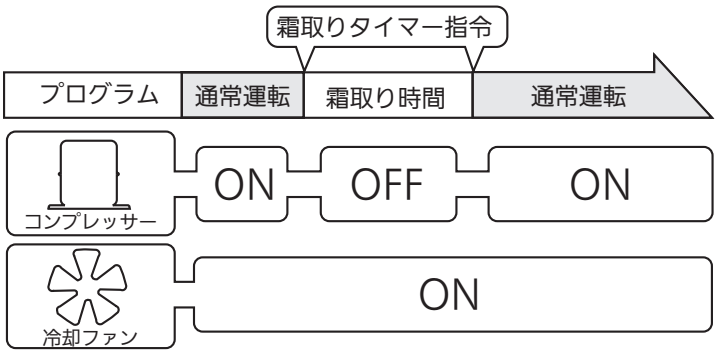
霜　取　り　方　式	冷蔵庫温度	適用クーリングコイル
オフサイクル霜取り	+25℃以下+3℃超	CC-TL2000、TL4000

このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

オフサイクル霜取り

■冷蔵庫の温度が＋３℃を越える場合に使用されます。霜取りはタイマーによって開始され、圧縮機は停止して冷却ファンのみ運転します。冷却器に付着した霜は、冷蔵庫内の空気によって溶かされ、除霜することができます。霜取り回数は１日６回（１回15分セット）が標準ですが、着霜の状態によって回数を増減してください。霜取りタイマーは市販のタイマーをご使用ください。

霜取りサイクルプログラム



点検とお手入れのしかた

⚠ 警告

製品の外側や庫内に直接水をかけたり、水洗いしたりしない

水ぬれ禁止

ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない

ぬれ手禁　止

感電の原因になります。

お手入れのときは必ず電源回路を切る

火災や感電のおそれ

クーリングコイルケース（外側）

■柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた後、水を浸した布で拭きとってください。
アルカリ性または酸性洗剤・酸・油類・シンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉・粉せっけん・熱湯・たわしを使用すると塗装やプラスチックを傷めますので使用しないでください。
台所用中性洗剤は容器に書いてある使用方法にしたがってください。

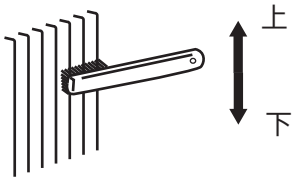
●いつも清潔にご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

ドレンパン

■ドレンパン固定ねじをドライバーで反時計方向に回すと、簡単にドレンパンが開きます。
底部を清掃してください。

冷却器

■フィンを傷めないように目にそってハケ、ブラシなどで清掃してください。



修理を依頼される前に

⚠ 警告

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない

ぬれ手
禁　止

感電の原因になります。

修理のときは必ず電源回路を切る

火災や感電の原因になります。

以下のことをお調べになって、それでも調子が悪い場合、あるいは、万一異常な音、におい、煙が出た時はすぐに運転を停止し、電源回路を切って、庫内商品を別のケースに移すなどの処理をした上で、お買い上げの販売店に下記の“お知らせいただきたい事項”をご連絡ください。

症　状	原　因	処置方法
運転しない	● 停電ではありませんか？ ● 電源が完全に入っていますか？ ● 漏電遮断器が働いていませんか？	● 電源回路を確認してください。（停電の際は安全のため、元電源を切っておいてください。） ● 電源スイッチを確認してください。 ● お買い上げの販売会社にご相談ください。
よく冷えない	● 温度調節は適切ですか？ ● 吸込口・吹出口を障害物でふさいではいませんか？ ● 食品を詰めすぎてはいませんか？ ● 霜の取り残しはありませんか？	● 設定温度を確認してください。 ● 吸込口・吹出口を障害物を取り除いてください。 ● 貯蔵品の量を調整し、冷気の通路を確保してください。 ● 霜取り設定を見直してください。

お知らせいただきたい事項

①故障の状況　（具体的に、できるだけくわしくお知らせください。）

②品番
③製造番号　（ネームプレートに記載してあります。）

④おなまえ、おところ、電話番号、道順
（分かりやすい目標物、棟、部屋番号までお知らせください。）

⑤お買い上げ年月日

⑥訪問ご希望日

修理について

⚠ 警告

修理は販売店または、専門業者に依頼する

冷却運転中は高温になり、やけどの原因になります。

修理のときは必ず電源回路を切る

感電やファンによるケガ、ヒーターによるやけどの原因になります。

⚠ 注意

ヒータークリップを取りはずす場合、ドライバー等でこじらない

パイプの変形、ガス漏れの原因になります。

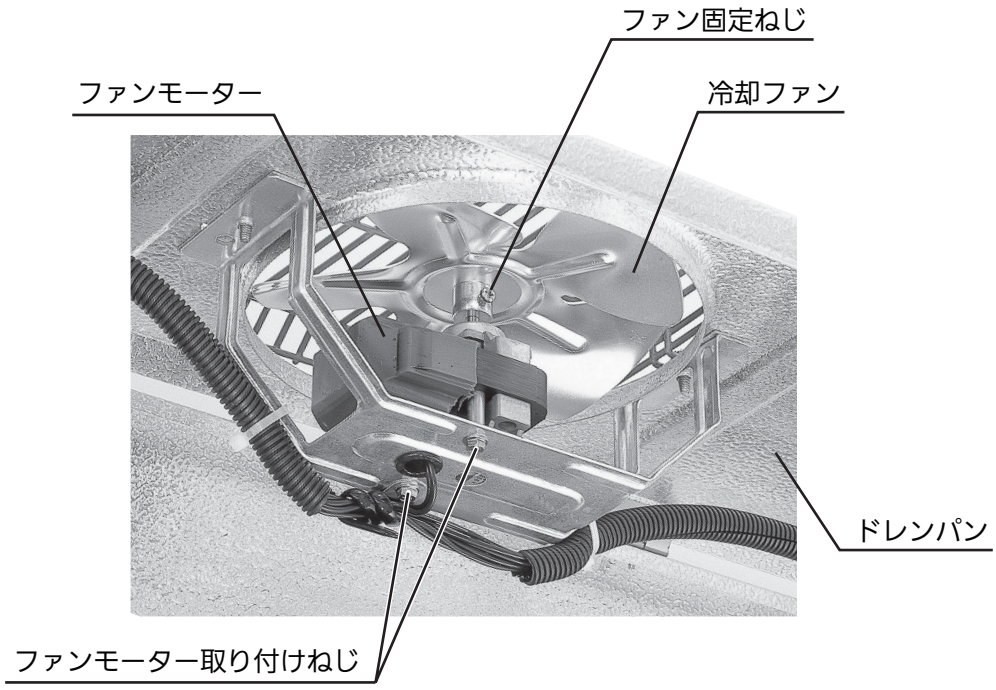
禁　止

修理のときは手袋を着用する。

ケガの原因になります。

ファンモーターの交換

①ドレン口とドレンホースをつないでいるホースバンドをゆるめ、ドレンホースを取りはずします。
②ターミナルボックスを開き、ファンモーター端子を取りはずします。
③ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
④ファン固定ねじをゆるめファンを取りはずします。
⑤ファンモーター取付ねじを２本はずし、ファンモータを取りはずします。



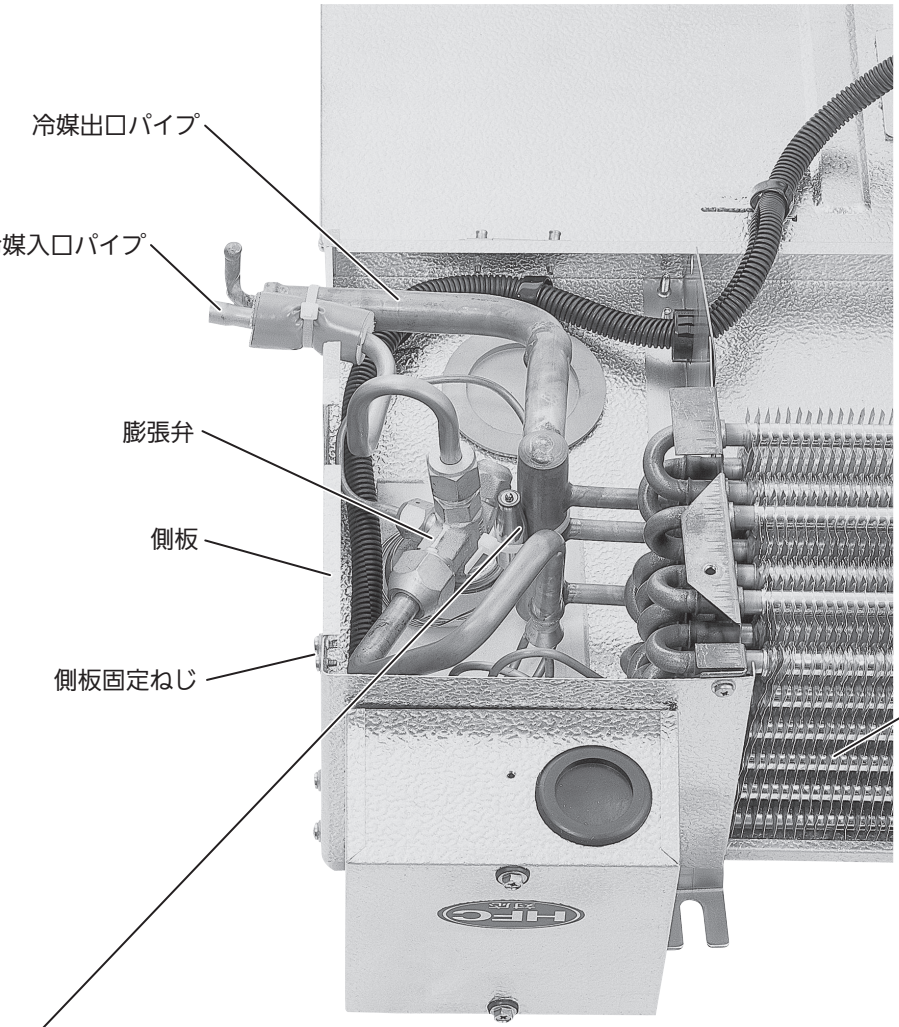
注意

TLシリーズに使用しているファンモーターは保護サーモを内蔵しており、異常が起きた場合モーターの温度上昇を感知して自動的に停止しますので、ファンモーターの焼損が防止できます。もし、ファンが停止した場合は、ファンモーターにロック電流が流れてファンが停止していることになります。
ファンモーターのロック原因を取り除いてください。

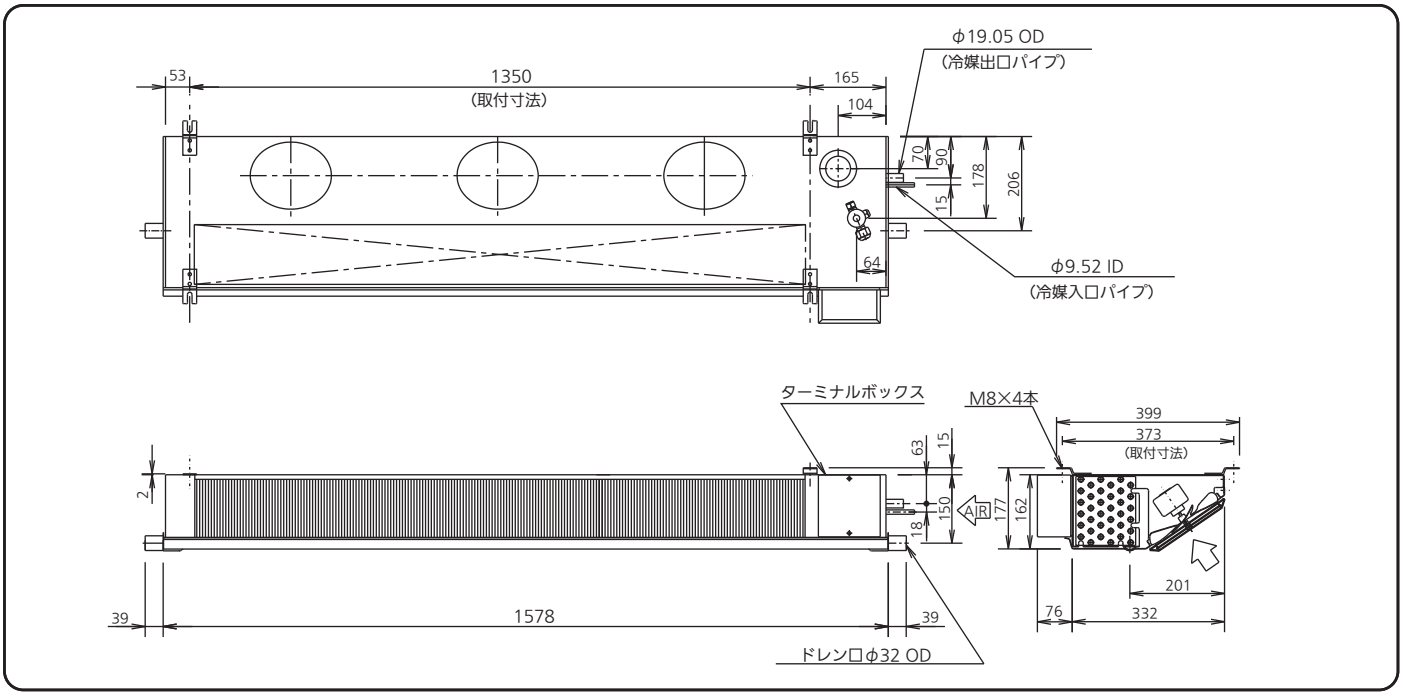
修理について

膨張弁の交換

①ドレン口とドレンホースをつないでいるホースバンドをゆるめ、ドレンホースを取りはずします。
②ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
③側板固定ねじを取り、側板をはずします。
④膨張弁につながっているパイプをはずし、膨張弁を交換します。後の手順はP11を参照してください。

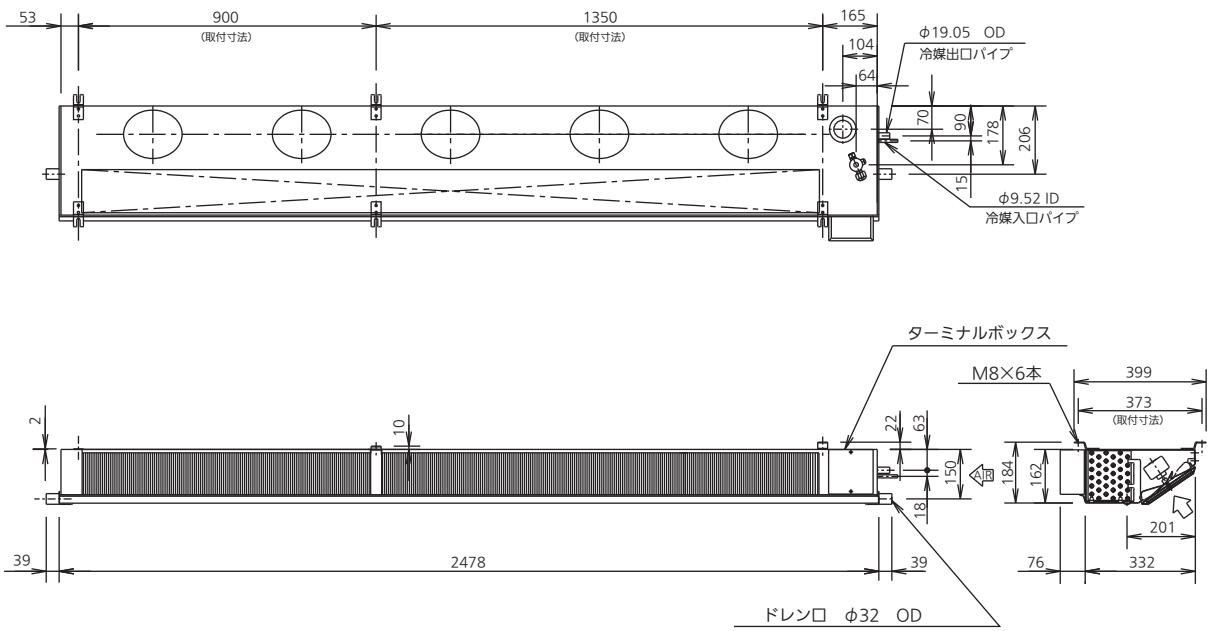


仕　様



機種名		CC-TL2000
外装ケース		アルミニウム
使用温度		+25℃以下+3℃超
フィンピッチ		4.23mm
冷却面積		11.87m^2
冷凍能力	5℃TD	1,120/1,190　W
	7℃TD	1,570/1,660　W
	10℃TD	2,240/2,370　W
ファンモーター		7W×3（入力50/60Hz　114/95W）
ファン直径		φ177mm
風量		13.2/14.1m^3/min
電源		3相200V　50/60Hz
総合消費電力	運転	121/98　W
	霜取	121/98　W
総合消費電流	運転	0.8/0.5　A
	霜取	0.8/0.5　A
霜取方式		オフサイクル方式
ヒータ容量	霜取ヒータ	ー
	ﾀｰﾐﾅﾙﾎﾞｯｸｽﾋｰﾀｰ	5W
	ドレンホースヒーター	ー
配管接続	冷媒入口パイプ	9.52mmID（3/8"）
	冷媒出口パイプ	19.05mmOD（3/4"）
	ドレン口	φ32mmOD（ドレンホース内径φ32mmＩD）
製品質量		18kg
適用冷凍機の目安		1.1kW
膨張弁		TES2-0.6（N）
電磁弁		BAS-QF3ST-4
付属品		ドレンホース、ホースバンド、Uトラップ管、取扱説明書、電磁弁

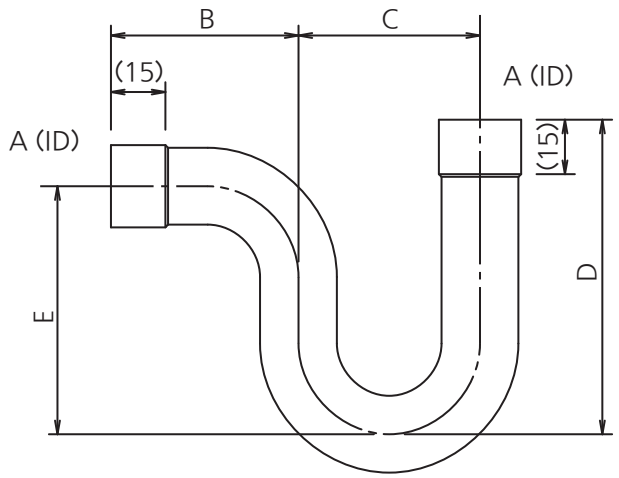
仕　様



機種名		CC-TL4000
外装ケース		アルミニウム
使用温度		+25℃以下+3℃超
フィンピッチ		4.23mm
冷却面積		19.78m^2
冷凍能力	5℃TD	1,960/2,070　W
	7℃TD	2,740/2,890　W
	10℃TD	3,910/4,130　W
ファンモーター		7W×5(入力50/60Hz　193/155W)
ファン直径		φ177mm
風量		22/23.5m^3/min
電源		3相200V　50/60Hz
総合消費電力	運転	198/160　W
	霜取	198/160　W
総合消費電流	運転	1.5/1.0　A
	霜取	1.5/1.0　A
霜取方式		オフサイクル方式
ヒータ容量	霜取ヒータ	ー
	ﾀｰﾐﾅﾙﾎﾞｯｸｽﾋｰﾀｰ	5W
	ドレンホースヒーター	ー
配管接続	冷媒入口パイプ	φ9.52mmID（3/8"）
	冷媒出口パイプ	φ19.05mmOD（3/4"）
	ドレン口	φ32mmOD（ドレンホース内径φ32mmID）
製品質量		26kg
適用冷凍機の目安		1.5kW
膨張弁		TES2-1.2（N）
電磁弁		BAS-QF3ST-4
付属品		ドレンホース、ホースバンド、Uトラップ管、取扱説明書、電磁弁

付属部品寸法

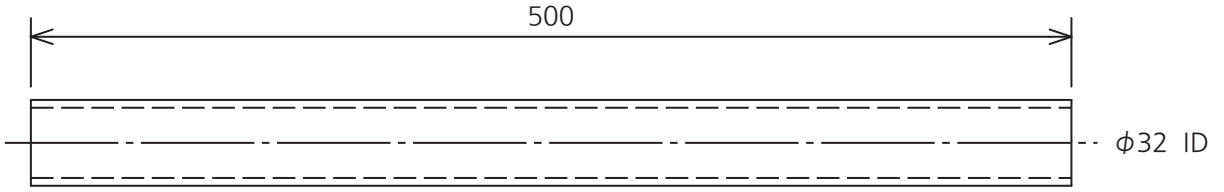
Uトラップ管



単位：mm

A	φ19.2
B	45
C	44
D	79
E	69

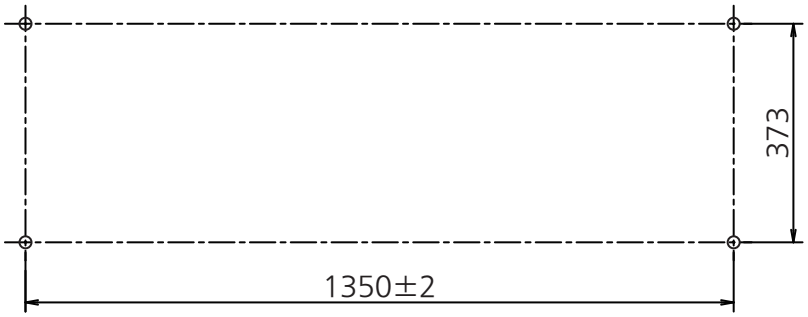
ドレンホース



単位：mm

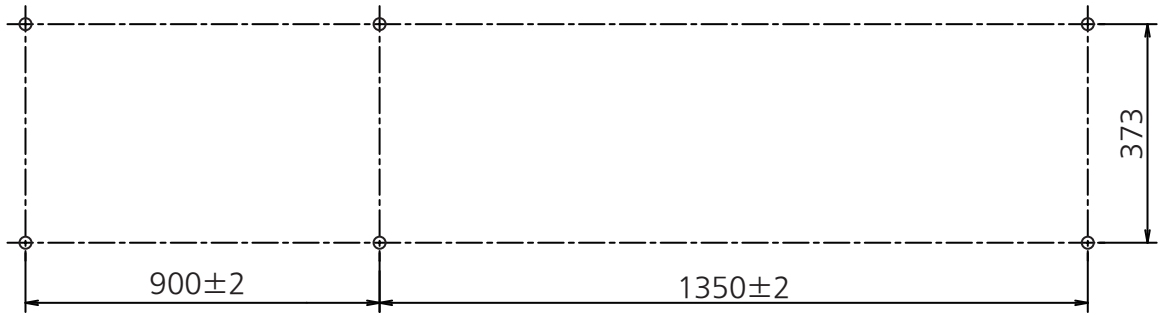
製品取付天井寸法

ＣＣ－ＴＬ２０００



（製品前方）

ＣＣ－ＴＬ４０００

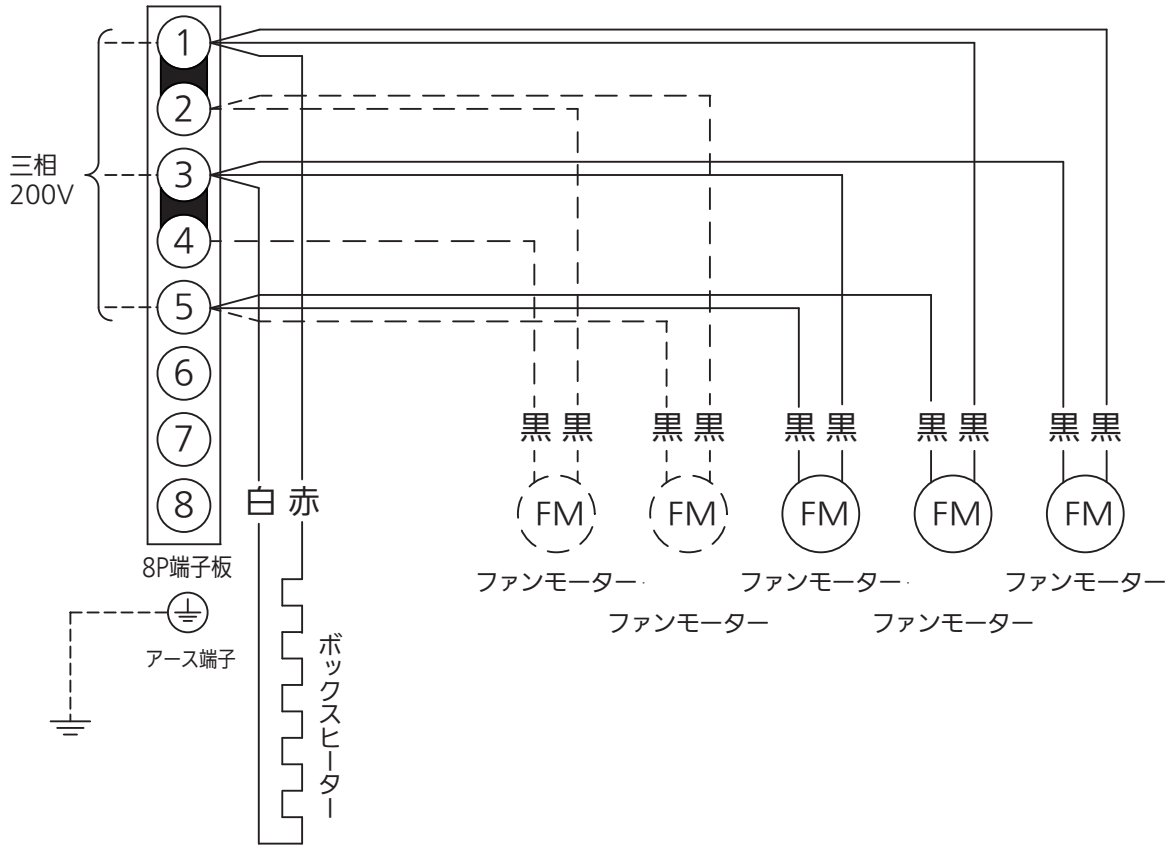


（製品前方）

単位：mm

製品電気回路図

ＣＣ－ＴＬシリーズ 電気回路図

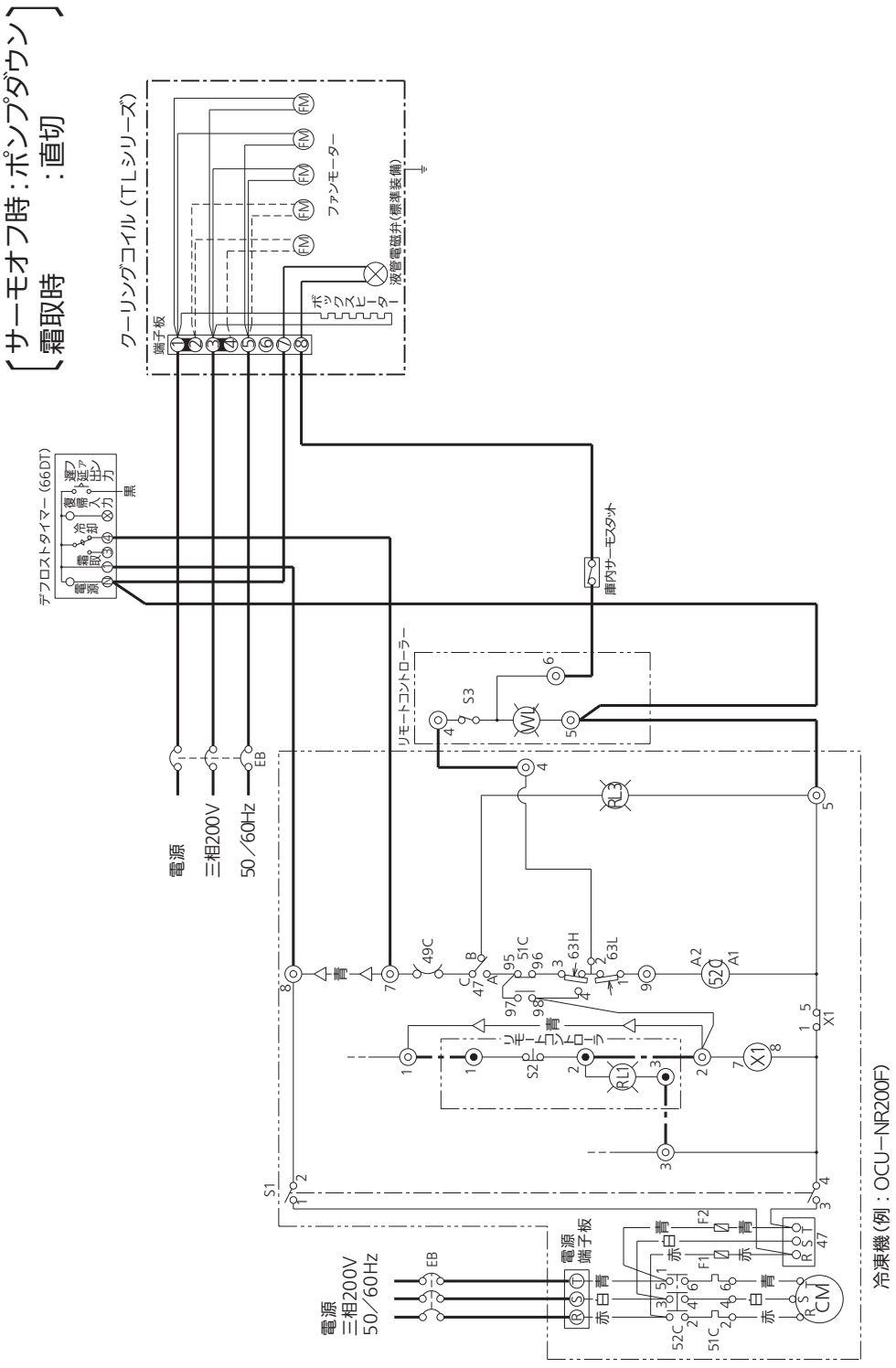


機　　種　　名	ファンモーター数
CC-TL2000	3
CC-TL4000	5

配線図

SDT-53TF使用･オフサイクル霜取（1台連結）3相200V用

電気配線図



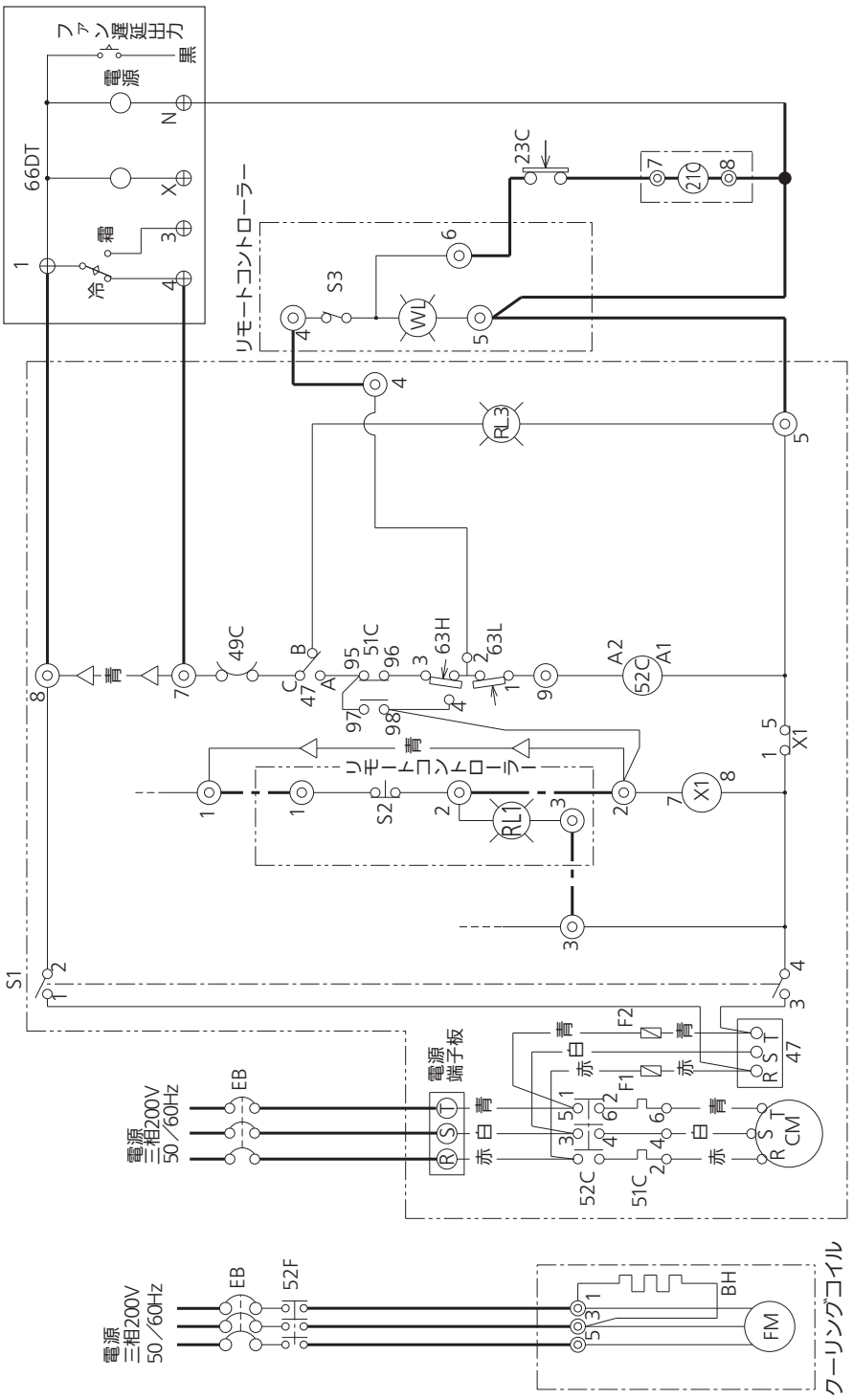
＊冷凍機の端子板⑦,⑧間に結線されている青線をはずしてください。
＊リモートコントローラーを結線する場合は、端子板①,②間の青線をはずしてください。
＊ ▬▬ の配線は、現地で行なってください。
　 ＝＝＝ の内部は、工場にて配線済です
＊庫内サーモスタット，電磁弁，漏電遮断器，電磁接触器は、市販品をご使用ください。

⚠ この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

配線図

SDT-53TF使用･オフサイクル霜取（1台連結）3相200V用

操作回路図



記号	名称	記号	名称	記号	名称
F1,2	操作回路ヒューズ（AC250V,5A）	51C	コンプレッサー用過負荷リレー	EB1,2,3	漏電遮断器
S1	運転スイッチ	49C	保護サーモ	23C	庫内温度調整用サーモスタット
S2	警報リセットスイッチ（過電流・異常高圧）	63H,63L	高低圧圧力スイッチ	21C	電磁弁
S3	運転スイッチ（ポンプダウン用）	PCB	ファンモーターコントローラー基板	66DT	デフロストタイマー（SDT - 53TF）
X1	補助リレー	23S	温度センサー	FM	ファンモーター
47	逆相防止リレー	CM	コンプレッサーモーター	BH	ボックスヒーター
WL	冷却運転ランプ（白色）	CF	コンデンサファンモーター	⊕	デフロストタイマー端子
RL1	警報ランプ（赤色）	CH		◎	端子板
RL3	電源逆相警報ランプ（赤色）	C1	運転コンデンサ（CF用）		
52C	コンプレッサー用電磁接触器	C2	進相コンデンサ		

◎お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

品　　番	
ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	電話（　　）　　－

パナソニック株式会社　コールドチェーン事業部
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号
© Panasonic Corporation 2012-2015

部品品番
3FL6P110078004

C0313-4025